

本書は財団法人日本船舶振興会の
補助金により作成したものです。

JASTPRO刊 82-18

主要貿易書類の署名の考察

—署名方法の簡易化のために(その2)—

1983年3月

財団法人 日本貿易関係手続簡易化協会

は　し　が　き

国際間に亘る貿易関係書類には、諸外国にて行われているのと同様、わが国ではローマ字による肉筆署名をすることが慣習となっている。

貿易手続簡易化の観点から、この厖大な件数となる署名の方法について、従来の手書きによる署名の効力を損うことなく、他の方法によってその労力を節減することができないかということがひとつの問題である。

一方において、貿易情報を書類によらずコンピュータにより処理し、データ伝送することとなると、肉筆署名に代って、その情報の真正性を証明する何らかの方法が確立されなければならないことも問題である。

このような問題意識から、署名についての解決方法をさぐるため、昭和56年度から2ヶ年の予定で検討を進めることとなつた。

初年度の研究として、インボイス、船荷証券、保険証券、信用状をとりあげ、署名に関する問題の所在を整理し、報告書「主要貿易書類の署名の考察—署名方法の簡易化のためにー」をとりまとめた。

本年度においては、改善の実現のための具体的な方策を求めて、前年度の検討成果の上に更に詳細な検討を行い、報告書（その2）をとりまとめた。

署名に関する問題は、わが国および国際的な法律、規則、慣習などに關係する範囲が極めて広く、貿易手続簡易化のための重要な課題のひとつであるので、貿易に關係する各位にこの研究が少しでも役立ち、問題意識を持っていただくことができれば幸である。

最後にこの研究に参加いただいた委員各位に厚く御礼申上げる。

昭和58年3月

財団法人 日本貿易関係手続簡易化協会

署名問題特別委員会名簿

委員長	飯 田 勝 人	株式会社東京銀行事務管理部長代理
委 員	大 崎 正 瑠	大妻女子大学専任講師
	丹 羽 和 男	三井物産株式会社事務管理室長
	西 矢 清	大阪商船三井船舶株式会社定航業務部総務課長
	小 河 康 人	東京海上火災保険株式会社貨物業務部事務課長
	中 村 清太郎	株式会社富士銀行国際管理部調査役
	中 島 博 明	東京税関輸入部統括審査官
事務局	山 崎 東 夫	常務理事・事務局長
	坂 本 理 枝	

主要貿易書類の署名の考察

一 署名方法の簡易化のために（その2）一

目 次

はしがき

署名問題特別委員会名簿

I. 署名問題特別委員会の今年度の検討課題

1. 背 景	1
2. 今年度の検討課題	1

II. 署名に関する国際条約の一般的動向とわが国の判例

1. 国際手形及び国際約束手形に関する条約草案	1
(1) 「署名」に関する基本的態度	1
(2) 「署名」に関する国内法への配慮	2
2. 倉荷証券の裏書署名に関するわが国の判例	3
(1) わが国における法令上の署名の要件	3
(2) 倉荷証券の裏書署名に関する判例	3

III. 保険証券の署名簡易化の動向

1. 保険証券の意義	5
2. 保険証券の署名の要件	5
3. 日本損害保険協会による英文保険証券の署名の簡易化の検討経緯	6
(1) 背 景	6
(2) 保険証券の署名の簡易化の手法	6

(3) 諸外国における英文記名捺印による保険証券の受理可能性	6
(4) わが国の外為銀行による英文記名捺印保険証券の受理可能性	7
(5) 保険証券の署名を英文記名捺印によることについての結論	7
4. わが国における保険証券および関連書類の署名の実態	7

V. 船荷証券の署名簡易化の動向

1. 船荷証券の意義	8
2. 船荷証券の署名の要件	8
3. 船荷証券の穿孔署名(signature by perforation)	9
4. わが国における船荷証券および関連書類の署名の実態	10
(1) 署名の実態	10
(2) 船荷証券の署名を「記名捺印」によらない理由	11

V. インボイス(商業送り状)の署名簡易化の動向

1. インボイスの意義	12
2. インボイスの署名の要件	12
3. わが国におけるインボイスの署名の実態	12
(1) 自署の絶対件数の削減	12
(2) 自署の相対件数の削減	13
(3) 署名の事前印刷の実施	13
(4) インボイス用紙の組合せ, その他の工夫	13

VI. 信用状の署名簡易化の動向

1. 信用状の署名の特殊性	15
(1) 概要	15
(2) 信用状の署名の重要性	15
2. わが国における信用状の署名の実態	16
(1) 署名の実態	16

(2) 今後の動向	16
3. 偽造信用状への対策	17

VII. 結 語

1. 要 約	17
2. 今後の展望	18

参考資料（本委員会で検討した書類の主要例）

1. 保険証券	19
2. 保険承認状	20
3. ライダー (Endorsement)	21
4. 船積船荷証券	22
5. 受取船荷証券	23
6. Certificate (不寄港, 船級, 建造年月日等の証明)	24
7. Certificate (同盟船, 荷揚許可等の証明)	25
8. インボイス(基本セット)	26
9. インボイス(組合わせセット)	27
10. 輸入信用状	28
11. 輸出信用状の通知書(確認信用状の通知)	29
12. 輸出信用状の通知書(条件変更の通知)	30

I 署名問題特別委員会の今年度の検討課題

1. 背 景

JASTPRO に設置された「署名問題特別委員会」は、従来からの懸案である「保険証券」、「船荷証券」、「インボイス（商業送り状）」および「信用状」の発行署名の簡易化を推進するため、昨年度はこれら書類の署名の実態とその関連法令等を調査し、まず実情認識を行なうこととに努めた。

そして、その調査結果を、「主要貿易書類の署名の考察—署名方法の簡易化のためにー」（JASTPRO刊 81-13）という報告書にとりまとめた。

2. 今年度の検討課題

本委員会は、前年度の基礎資料をベースとして、各委員が、実際に使用されている書類のセットを持ち寄り、個々の書類についての署名の様相を調べて、署名の簡易化の程度、一層の簡易化の余地の有無等を検討して、以下の報告にとりまとめることとした。

なお、本委員会の検討した書類の一部については、参考資料として、本報告書の末尾に添付したので、ご活用いただければ幸いである。

II 署名に関する国際条約の一般的動向とわが国の判例

1. 国際手形及び国際約束手形に関する条約草案

(1) 「署名」に関する基本的態度

国連国際商取引法委員会（UNCITRAL）は、現在ジュネーブ統一法と英米法とに二分化している手形・小切手に関する法の国際的統一と調和を目的として、1982年夏、「国際為替手形及び国際約束手形に関する条約草案」を完成させ、意見を求めるため世界各国政府に送付した（同時に、「国際小切手に関する条約草案」も各国政府に送付した）。

この条約草案における「署名」の規定は、次掲のとおりであり、これは国際海上物品運送に関する「ハンブルグ・ルール」（国際条約としては、現在までのところ、未発効）と同様、きわめて進歩的・包括的なものであり、前報

告書において引用した米国統一商事法典における署名の規定の流れをくむものということができる。

すなわち、本条約草案においては、手形の署名に関する国際的な実務慣行を認知し、署名は必ずしも手書であることを要しないとの基本的立場を明言しているのである。

「国際為替手形及び国際約束手形に関する条約草案」（仮訳、法務省民事局参事官室、金融法務事情 1013 号 100 ページ以下）

第2章 解 稅

第1節 通 則

第4条（定 義）

この条約において、

(1) 「署名」には、印章、符号、複写、穿孔その他の手書でない手段による記名を含み、「偽造の署名」には、これらの手段の悪用又は無権限の使用による記名を含む。

(In this Convention :

(1) "Signature" includes a signature by stamp, symbol, facsimile, perforation or other mechanical means and "forged signature" includes a signature by the wrongful or unauthorized use of such means.)

(2) 「署名」に関する国内法への配慮

本条約草案は、「手書でない手段による署名（signature by other mechanical means）」を認知するという基本的態度をとりつつも、現実には、「手書による署名」のみを適法な署名と認める国のあることをも考慮し、このような国においては、国内法と整合性をとるため、「手形の署名は手書によらなければならない」旨の留保をする途を残したことにも注目すべきである。この留保条項は、次のとおりである（前掲書、103 ページ）。

第(X)条

国内法において証券上の署名は手書によらなければならないことを定め

ている締約国は、署名、批准又は加入に当り、この領域内においてされる手形上の署名は手書によらなければならないことを宣言することができる。
(Article (X))

A Contracting State whose legislation requires that a signature on an instrument be handwritten may, at the time of signature, ratification or accession, make a declaration to the effect that a signature placed on an instrument in its territory must be handwritten.)

ソ連代表が自国の国内法を理由として、この留保条項を提案したものといわれているが、このことは、外国には手書署名のみを適法なものとする国が、現実に存在することを物語るものといえよう。

2. 倉荷証券の裏書署名に関するわが国の判例

(1) わが国における法令上の署名の要件

わが国の法令上は、署名は「自署」または「記名捺印」のみが合法的なものと認められており、その限りでは、国際手形条約草案と異なり、保守的・制限的であることは前報告書に述べたとおりである。

しかし、その一方で、株券・債券の署名は、発行時の大量性・時限性等の制約から、自署・記名捺印によることは事実上不可能であるところから、実務上は、ほぼ例外なく機械による印刷署名の方法が用いられ、わが国において支障なく流通していること、さらには、新日本検定協会は、自動署名器による「穿孔」方式を、また日本海事検定協会は「社名印の事前印刷」方式を、それぞれ英文検量証明書の発行署名としており、これらが貿易関係者によって支障なく受理されている事実も、前報告書で触れた。

(2) 倉荷証券の裏書署名に関する判例

本報告書では、法律上当然の指図証券である船荷証券の署名（発行署名）についても検討を加えることになっているが、船荷証券と類似の性質をもつ倉荷証券の裏書署名に関するわが国の最近の判例があるので、参考ま

でにその概略を述べる（詳細については、金融法務事情 885 号 35 ページ以下参照）。

本判決は、「倉荷証券の裏書人として会社が社名を記載したゴム印と、同社名を刻した角印が押捺されているだけで、その代表機関の自署ないしは記名捺印をしていないときは、このような裏書は会社の裏書として適式でなく、その効力を生じない」旨判示した（大阪高裁、昭和 53・8・9、第 12 民事部判決・原判決変更・請求一部認容（本訴）・請求棄却（反訴），昭和 48 年（ネ）第 697 号、同第 732 号）。

本判決においては、関係法令がとくに裏書の方式を定めた場合、この要件を満たさない裏書は、受寄者（倉庫営業者）がその裏書の方式を争うときは、無効であることを述べている。この判旨は、国際海上物品運送法により発行署名の方式を定められた「船荷証券」を発行する場合にも妥当するものと考えられ、船荷証券の署名の簡易化を考察するに際し十分認識しておくべき事項であるといえよう。

なお、この判決の関連部分は、次のとおりである（前掲書 36～37 ページ）。

「二、本件各倉荷証券に関する請求について

(+) 倉荷証券の裏書の方式については、商法 519 条により手形法 13 条が準用されるから、その裏書は倉荷証券またはこれと結合した補箋にこれを記載し、裏書人が署名（記名捺印を含む=手形法 82 条）するのであるが、裏書人が会社その他の法人である場合にはその法人の代表機関が法人のためにすることを明らかにして、自己の署名をすることを要すると解すべきである（最高裁判所 昭和 41 年 9 月 13 日判決、民集 20 卷 7 号 1359 頁参照）。

これを本件についてみると、前示のように本件各倉荷証券の訴外××××株式会社に関する各裏書欄には、いずれも 裏書人の表示として右訴外会社の社名を記載したゴム印と同社名を刻した角印が押捺されているだけで、その代表機関の自署ないし記名捺印がないから、右各裏書欄には右訴外会社の署名があるということはできず、このような裏書は右訴外会社の裏書として適

式でなく、その効力を生じないものというべきである。

第一審原告は裏書人欄に会社の記名をし、発券倉庫業者に届け出た印鑑を押捺するときは、会社の代表機関が会社のためにすることを明らかにして署名ないし記名押印しなくとも、これを適式の裏書として取扱う商慣習法または商慣習が存在する旨主張するが、右商慣習法の存在を認めるに足る資料がない。もっとも、《証拠》によると、倉庫業を営む会社においては、寄託をうけるに際し寄託者の社名印を届け出させ、第一審原告主張のような方式の裏書のある倉荷証券の所持人に対しても寄託物の引渡し要求に応じている例が多いことが認められる。ただし、受寄者がその方式を争う場合にも法人の代表者の署名を欠く裏書を有効として取扱う慣行の存在までも認めることはできない。おもうに、商法519条が金銭その他の物、または有価証券の給付を目的とする有価証券について、とくに強い流通性の要請を考慮して、手形法13条を準用し裏書を方式化したことかんがみれば、裏書の方式に関する右規定は強行規定であると解すべきであるから、前示のような慣行をもってこれに優先させることができないといわねばならない。したがって、第一審原告の右主張は失当であって採用できない。」

III 保険証券の署名簡易化の動向

1. 保険証券の意義

国際貿易に用いられる海上保険証券は、「保険契約の成立後、保険者が発行する証券」であり、「保険契約者はその交付請求権をもつ」。また、保険証券の機能は、「保険契約の成立及び内容につき、保険契約者のため、保険者に対する証拠証券として役立つとともに、保険者にとっては保険金の支払に当つての免責証券ともなる」ことである（新版新法律学辞典、有斐閣）。

2. 保険証券の署名の要件

わが国商法の規定によると、保険証券の署名の要件は「自署」または「記名捺印」（商法第649条2項、商法中署名スヘキ場合ニ関スル法律）である。

なお、信用状統一規則は、保険書類の発行に関しては、「保険会社もしくはその代理人あるいは underwriters によって発行および／または署名されなければならない（……must be issued and/or signed by ……）」（第26条）と定めるのみで、保険証券の署名要件についてはこれ以上の詳しい規定を欠いているが、結局は発行地の法律にゆだねるとの態度をとるものと解される。また国際商業会議所（信用状統一規則を制定した国際的団体）は、「予め印刷された保険者の署名（pre-printed signature of insurer）」を認めていく。

3. 日本損害保険協会による英文保険証券の署名の簡易化の検討経緯

(1) 背 景

わが国の損害保険会社の発行する英文海上保険証券は、通常2枚が1組として発行され例外なく「自署」（英文の手書署名）によっているが、損保協会では省力化の観点から、これに代わる署名方法について多方面からの検討を加えた。

具体的には、損保協会に設けられた外航書式標準化特別委員会が1980年に精力的な検討を行なったものであり、この問題に関する他業界の参考までにその概要を紹介することとした（ちなみに、損保協会では1966年から1967年にかけても、同様の調査研究を行なったが、具体的結論を得るには至らなかつた）。

(2) 保険証券の署名の簡易化の手法

特別委員会は、法的側面・省力化の側面等から自署による署名の代替的手法としては、「署名機器を用いた英文記名・捺印（すなわち、署名者の英文署名および朱印を機械的手法により保険証券に顕出させる方法）」が妥当であるとの結論に達した。

(3) 諸外国における英文記名捺印による保険証券の受理可能性

特別委員会が、各社の海外駐在員を通じて調べたところ、次のとおり、先進諸国においては記名捺印による保険証券はおむね受理されるが、発展途

上国では必ずしも受理されない傾向にあることが判明した。

① 記名捺印による署名が受理されると判断される国

英國, 米国, フランス, 西ドイツ, オーストラリア

② 慣習上, 記名捺印による署名が受理されないと判断される国

シンガポール, 韓国, フィリピン, タイ, ブラジル

③ 法律上, 記名捺印による署名が受理されないと判断される国

インドネシア（同国には、手書署名以外を認めないと旨の国内法がある。）

ただし、同法はインドネシア国内において発行される保険証券についてのみ適用されるにとどまり、必ずしも同国外で発行される保険証券に適用されるものではない。）

(4) わが国の外為銀行による英文記名捺印保険証券の受理可能性

多くの外為銀行は、記名捺印の方法による保険証券については、担当者の個人的意見を含め、肯定的な反応を示した。ただし、これが海外の銀行にとっても問題なく受理されるものかどうかについては、疑問視する外為銀行も多かった。

(5) 保険証券の署名を英文記名捺印によることについての結論

特別委員会の検討結果をもとに損保協会内部で議論した結果、①記名捺印方式は実現可能性をもつものではあるが、②外国においては受理されないところもあり、③わが国の外為銀行も外国における受理可能性に疑々あるものとしている等の事情を勘案し、④結局は、実施は時期尚早との慎重な意見が大勢を占めた。

ただし、損保協会としては、あらゆる機会をとらえ、本方式による署名の簡易化を実現するため、積極的な態度で臨んでいる。

4. わが国における保険証券および関連書類の署名の実態

わが国の保険会社が発行する英文海上保険証券および関連書類の署名の実態は下表のとおりである。

なお、これを要約すると、次のようにいいうことができよう。

- (1) 保険証券自体および関連書類のうち、海外に送付されるものは、ほぼ自署によっている。
- (2) ただし、endorsementは、海外へ送付されることが予定されているにもかかわらず、事前印刷の方法による署名である点が注目される。

書類名	手書署名	事前印刷名	備考
保険証券	○		
Certificate of Marine Insurance (輸入用)	○	○	
Endorsement	○	○	
Debit Note (Statement of Premium)		○	
Certificate of Declaration	○		
予定保険用 Cover Note	(ゴム印)		
Marine Quotation	○		
Non-Black List Certificate	○		

V 船荷証券の署名簡易化の動向

1. 船荷証券の意義

船荷証券は、「海上運送契約による運送品の引渡請求権を表彰する有価証券」であり、「傭船者又は荷送人の請求により、運送人・船長又は運送人の代理人が船積後(→『船積船荷証券』)又は受取後船積前(→『受取船荷証券』)，遅滞なく発行する」とことになっている(新版新法律学辞典、有斐閣)。

2. 船荷証券の署名の要件

わが国の国際海上物品運送法の規定によれば、船荷証券は所定事項を記載のうえ、「運送人、船長又は運送人の代理人が署名し、又は記名押印」(同法第

7条)することになっている。

一方、信用状統一規則は、船荷証券の署名の要件を具体的に規定しておらず、「発行され(issued)」(第19条)または、「署名あるいはイニシャル署名し(signed or initialed)」(第20条)という表現を用いているにすぎない。信用状統一規則は、船荷証券の署名は、保険証券の署名と同様、発行国の法律に違反しない限り、同国において適式のものであれば受理される、との基本的立場をとっているものと解される。

このことは、次項の「穿孔署名」に関する信用状統一規則の討議過程からもうかがい知ることができる。

3. 船荷証券の穿孔署名(signature by perforation)

現行の信用状統一規則(1974年改訂)の改訂作業段階で、船荷証券の「穿孔署名」が受理できるものかどうかに關し議論されたが、これは「船荷証券の発行地の法律により、穿孔署名が適式なものと認められる限り、合法的なものとして一般に受理される」ということに落着したものといわれている。その経緯は、次のとおりである(小峯登、1974年信用状統一規則(下)、外国為替貿易研究会103~105ページ)。

「(1) Signature by perforation

実は、第2次改訂における規則第17条の英國の改訂原案には、当初、下記のとおり、船荷証券への運送人またはその代理人の署名を必要条件とするが、perforationによる署名のある船荷証券の拒絶が示されていた。

“ Article 17

Bills of Lading must always be signed by the carrier or his agent.

Unless otherwise specified in the credit, Bills of Lading of the following nature will be rejected: —

- (a) Bills of Lading to which signature has been applied by perforation.

英國原案は船荷証券の署名を必要条件としたが、それは自署に限定した関係上、第1項(a)号として『打抜きによって署名が付された船荷証券』を拒絶することにした。この点についてはBontoux氏はゴム印や打抜きは不可とし、de Coster氏(ベルギー)も批判した。しかし、Swart氏(アメリカ)は『打抜き署名は米国においてますます広く用いられている。』と強調した。Kennan氏はその事情を了承したとみえ、このような船荷証券は本人の同意を得た場合にかぎり受理される種類の証券のリストのなかに含めるべきであるという英國の提案を撤回した。BontouxおよびEisemann両氏より次の指摘があった。『成文化したものは普遍的に適用されるべきもので、かつ国内法ないし国際条約とさえも矛盾があつてはならない。打抜き署名の可否は適用できる法律によってのみ定まるものである。もしその法律がそれを有効と認める場合は、特に指図があることを要しない。もしその署名が有効でない場合には、それを認容する指図はすべて無効な船荷証券を受理できるものであると宣言するのと同然になろう。』要するに、アメリカにおいて打抜き署名が有効であるならば、同国で作成される打抜き署名のあるB/Lについては当然受理されるべきもので、ことさら信用状に"Perforation signature acceptable"のごとき指図を示す必要はない。……………

なお、ICC委員会は、『打抜き等による船荷証券の署名についての有効性』と題するアンケートを各国内委員会に配布して調査した結果では、打抜きによる署名はいまだ一般的な慣行となっていないことが判明した。

さらに、ICC委員会においては、『スタンプによるFacsimile Signature(模写的署名)』や『"Carbon Copy"による署名』についても討議されていた(この点に关心のある読者は、小峯『62年規則解説』下95~101ページを参照されたい)。」

4. わが国における船荷証券および関連書類の署名の実態

(1) 署名の実態

わが国で発行される外航船にかかる船荷証券は、通常3枚が1組として

発行されるが、現状は例外なく「自署」によっており、「記名捺印」またはその他の方法による署名によるものはない。

ただし、船荷証券以外の関連書類（船級証明書等）は、自署によらず、ゴム印または事前印刷によって処理している。また、これが支障なく受理されている。

(2) 船荷証券の署名を「記名捺印」によらない理由

先にみたとおり、わが国の法令上は、船荷証券の署名は「自署」のほか、「記名捺印」によるものができる。しかし、わが国の船会社が「記名捺印」の方法の採用に消極的である理由としては、次のような点が指摘されている。

- ① 「記名捺印」による船荷証券が、とくに外国において問題なく受理されるかどうかに疑々があること。
- ② 船会社においては、社印（公印）の使用手続が厳重であり、万一「記名捺印」にした場合、事務上きわめて煩瑣であること。
- ③ 「記名捺印」による船荷証券は、偽造の余地を残す可能性が大きいこと。
- ④ 偽造船荷証券の出現によるmaritime fraud が、現実に国際的問題となっていること。

（注1）わが国の外為銀行に対し、北欧系の船会社から、偽造防止を兼ねた「ファクシミリ」による船荷証券の発行署名の受理可能性について照会があった由である。

（注2）ある外為銀行によれば、英国からジャマイカ向の輸出にかかる船荷証券が英国で発行されたが、その船荷証券はゴム印による署名が付されていたにもかかわらず、同外為銀行はこれを受理し、信用状発行銀行たるジャマイカの銀行に送付したところ、そこでも問題なく受理されたとのことである（なお、本取引は、ジャマイカの銀行が英國の受益者（売主）にあてた信用状を発行し、それに基づく手形を日本の外為銀行が買取るという、3か国にまたがるものであった）。

V インボイス（商業送り状）の署名簡易化の動向

1. インボイスの意義

インボイスは「売買商品を遠隔の地に発送する場合等に、発送人が荷受人に送付する商品の明細書」であり、それには「当該商品の品名・種類・数量・価格・荷送方法、諸費用、代金支払方法、保険の種類・金額等が記載される」。インボイスの役目は、「商品の特性及び計算関係を明確にするためのものであり、送状・仕切状ともいわれる」（新版新法律学辞典、有斐閣）。

2. インボイスの署名の要件

信用状統一規則には、インボイス自体に署名を必要とするかどうかの規定はなく、したがって署名の要件についても明文規定は一切ない。一方、1980年インコタームズのC I F契約における売主の義務第7項にインボイスの規定はあるが、署名の要否・方法には言及していない。

ただし、わが国の関税法第68条1項に基づく関税法施行令（第60条1項）は、輸出申告に際し税關に提出するインボイス（仕入書）は、貨物の仕出入人が署名すべき旨を定めている。また、関税法基本通達（68-1-1）によれば、輸出申告の際に提出すべきインボイス（仕入書）には、仕出入の署名に代えて、同人の記名捺印によることができる。

なお、輸出者は、輸入地の通關に同人のインボイスが使用される場合、インボイスが輸入通關に適式なものであることにも配慮することが必要である。

3. わが国におけるインボイスの署名の実態

(1) 自署の絶対件数の削減

わが国で輸出用に作成されるインボイスは、前述のインボイスの機能、輸出手形の買取銀行の実務、わが国および輸入地での通關における適格性、その他客先が要求する表示事項等を考慮して作成される。

ある貿易商社では、古くは自己の手元にとどめる控は別として、外部へ出て行くインボイスの全通に自署していた時期もあったが、外部に出されるイ

ンボイスのすべてが必ずしも自署を要するとは限らず、インボイスのオリジナルとコピーを区分し、コピーについては自署の印影である rubber stamp の押捺等をもって十分代替可能の場合が多いという実態に徴して「自署」の件数（枚数）を最少限にとどめることを第一義とし、絶対件数の削減努力を重ね、相当の省力化を達成している。

(2) 自署の相対件数の削減

わが国の輸出通関件数その他を基礎に、わが国で 1981 年中に作成された輸出関係インボイスの自署の回数は 32,300 千回にも及ぶものと推計されているが、貨物（商品）輸送の高速化時代の昨今、この膨大な量の自署を少数の署名権限者のみにゆだねることとすると、署名に要する時間からして、タイミングを失し、「荷受入に送付する商品の明細書」たるインボイス本来の機能を十分果し得ないおそれがある。

そこで権限の限定委譲により、より多くの「署名権限を与えられた者（authorized signatory）」を指定し、自署件数の相対的削減を図るなど企業内部の周辺整備に工夫をしている企業も多い。

(3) 署名の事前印刷の実施

インボイスの所要記載事項の表示については、そのすべてが 1 枚のインボイス用紙に表示し終える場合と、2 枚以上の複数枚数を必要とする場合とがある。その何れの場合にも自署の枚数削減を可能とするため、一部の用紙に署名欄の所要事項を事前印刷しておき、省力化を図っているが、その基本的構成は下記の 3 方式である。

- ① 署名欄が全く空白のもの。
- ② 署名欄に「英文社名」、「署名権限を与えられた者であることを示す英文表示」を事前印刷したもの。
- ③ 署名欄に「英文社名」、「署名権限者の氏名・役職名（何れも英文表示）」および「英文署名」を事前印刷したもの。

(4) インボイス用紙の組合せ、その他の工夫

前項の①②③については、それぞれ 1 枚でインボイスが完結しない場合に

備えて、2枚目以降に使用する連續用紙についても①②③の3方式を採用しており、これらの組合せによって自署枚数の削減を可能にしている。

すなわち、オリジナルに署名権限者が自署する場合は、①と①（連續用）をセットし、別途 title 判（英文社名、署名権限者の氏名、役職名〔何れも英文表示〕を刻印したもの）を押捺の上、自署するが、コピーは①と③（連續用）を組合せ作出する。①と②（連續用）との組合せでは、オリジナルについてのみ署名権限を付与された者が自署し、コピーは別途準備された「署名権限を付与された者の自署の印影判」を押捺すれば足り、自署件数の相対的削減が果せるわけである。

この組合せ使用は一見複雑にみえるが、用紙棚の整理など周辺の整備によって実務的には簡便であり、署名者が自署のために拘束される時間の圧縮効果は大きい。

なお、企業によっては海外現地法人等僚店間では、いわゆる revolving L/Cをベースに、代金決済が行われており、決済実務が一般の場合に比べ簡略化されている事情もあり、一般用のインボイスと容易に識別できるよう用紙の色分けを行なっている。

これらの実例の一部については、別紙資料を参照願いたいが、これを表にまとめると次のようになる。

区分	色	社内登録番号（別紙資料面）	事前印刷の有無			用 途
			社名	肩書	署名	
一般用	①	白 HD-126 (1)-A				1枚目
	②	" " (2)-A	○	○		"
	③	" (3)-A	○	○	○	"
	①	" 1(1)-A				2枚目以降
	②	" 1(2)-A	○	○		"
	③	" 1(3)-A	○	○	○	"

区分	色	社内登録番号(別紙資料面)	事前印刷の有無			用 途	
			社内	肩書	署名		
社 内 L/ C 用	①	緑	H D - 1 2 7	(1)- A			1 枚目
	②	"	"	(2)- A	○	○	"
	③	"	"	(3)- A	○	○	"
	①	"	"	1 (1)- A			2 枚目以降
	②	"	"	1 (2)- A	○	○	
	③	"	"	1 (3)- A	○	○	

VI 信用状の署名簡易化の動向

1. 信用状の署名の特殊性

(1) 概 要

わが国の外為銀行が信用状を発行すると、これを直接受益者（売主）に送付することなく、発行銀行の海外店またはコルレス銀行を通知銀行に指定して、この通知銀行経由信用状を受益者に通知（引渡）することとなる。

このように受益者の地にある通知銀行を媒介とする理由は、(1)受益者自身は、発行銀行の信用状がまさしくその発行銀行によって発行されたものかどうかを判別する手段をもたないので、通知銀行にこの真正性確認手続を行なわせ（判別の手段は、あらかじめ取り交した「署名鑑」または test key による）、(2)通知銀行に輸出手形の買取等の授権を行なうことにより、受益者の金融の便宜をはかるためである。

(2) 信用状の署名の重要性

信用状は、通知銀行によってその真正性が確認されなければならない仕組であるから、発行銀行は、①信用状を郵便手段により発行する場合は、「署名」を付し、②信用状を電信手段により発行する場合は、test key により、自行の発行したものであることを明らかにしなければならない（電信手段による場合の test key は、「署名」と同じ機能を果たす）。

信用状統一規則には、信用状の署名の要否またはその要件について何らの

規定はないが、信用状の発行銀行は、この意味での「署名」の付与を励行している。

2. わが国における信用状の署名の実態

(1) 署名の実態

わが国外の外為銀行の調査によれば、わが国で発行される海外向の信用状（輸入信用状）の総件数のうち、約30%が郵便手段により、約70%が電信手段により発行される。

郵便手段により発行される信用状については、発行銀行は「自署」による署名を行なっているが、信用状の用紙は、1枚のみを原本とし、他の数枚はコピーとして、ノーカーボン紙によりセットされているので、信用状発行銀行の署名権者は、「自署」といっても、ただ1回手書サインをすれば足りることになっている。

信用状のうち、大部分（約70%）は電信手段により発行されるが、この場合の「署名」は test key によって行なわれることとなり、その実務は、発行銀行の輸入課の署名権者によってではなく、電信課によって行なわれる。

(2) 今後の動向

SWIFT (Society for Worldwide Interbank Financial Telecommunication の略。わが国の銀行のうち、約70行が SWIFT のメンバーである。)では、本年11月から信用状のフォーマットを稼働させる予定であり、そうなればわが国の信用状発行銀行の発行事務は、より円滑化されることとなる。したがって、今後は、電信手段による信用状発行件数比率は、現在の約70%からさらに増えることが予想される（SWIFT によるときは、先に述べた test key は機械的に付与され、かつ受信側においても、機械的に解読されるので、省力化されることとなる）。

3. 偽造信用状への対策

海外の詐欺師が、発行銀行を詐称して、偽の信用状を発行し、わが国の受益者（売主）から輸出品を詐取しようというケースが頻発している。

詐欺師は、偽の信用状を通知銀行あてに郵送し、これを受益者に通知させ、実際に船積された物品を詐取することをねらった悪質なもので、とくにナイジニア向輸出にかかる偽造信用状が世界的に多量に出回っているので、各当事者は十分な注意が必要である。

この場合、詐欺師のねらいは、精巧な印刷・複写技術を駆使して、本物の発行銀行の署名を偽の信用状に付与し、これを受領した通知銀行の署名照合の目をごまかそうというところにあり、通知銀行にとっては、通常の注意力をもってしては、偽造と判別することができないやつかいなものである。

信用状の真偽の判別が困難なことは、すべて信用状が郵便手段により発行されることに起因するから、この意味からも前述したSWIFTその他電信手段による信用状の発行が安全であり、望ましいものといえる。

VII 結 語

1. 要 約

本委員会の以上の検討結果をとりまとめると、次のように要約することができる。

(1) わが国で発行される保険証券、船荷証券、インボイスおよび信用状の署名の簡易化を考えるに際して考慮すべきことは、簡易化された署名が、わが国の法令・規則等の要件を備えたものであるかどうかである。

法定要件を欠く署名は、それ自体として無効であり、第三者にこのような署名を付した書類を受理させるための説得力を欠くこととなる。

(2) わが国の関係業界・企業は、これらの要件を前提としつつ、程度の差はあるものの署名の簡易化に向って工夫と努力をしていることがうかがわれるることは事実である。

(3) しかしながら、これら書類は、書類の作成者からその最終的需要者ともい

うべき外国の相手方に引渡されるまでの間に、わが国の銀行・官庁といった複数の第三者のみならず、法令・慣習の異なる外国にいる複数の第三者の手を経ることが普通であり、これら書類に付された簡易化された署名がすべての当事者に異議なく受理されるのでなければ、「簡易化された署名」は作成者の目的に反するばかりでなく、その取引自体をも無効にしかねない危険性を含むものとなることにも注意しなければならない。

先にみた日本損害保険協会による英文保険証券の署名の簡易化努力が現在までのところ結実していないのは、このような現実が背景となっているものともいえよう。

2. 今後の展望

(1) わが国の関係業界・企業による主要貿易書類の署名の簡易化を一層推進するためには、ネックとなっているわが国の関連法令・規則の改正が不可欠であると思われる。

具体的には、現行では自署または記名捺印のみを合法的な署名方法としているが、更に事前印刷その他の方法による署名方法も合法的なものとする方向への法令改正が必要である。

また、簡易化された署名による貿易書類が、諸外国においても支障なく受理されるためのバックアップとして、国際機関・団体による関連条約・規則等の制定とこれに基づく実務慣行の確立が望まれる。

(2) なお、コンピュータ時代の昨今、紙に記載する方法による貿易関連情報の伝達・記録に代り、エレクトロニクスの力による、紙を媒介としない、いわゆる「ペーパーレス社会 (paperless society)」の実現が急速に近づきつつあるが、このような新しい時代における主要貿易書類の署名の手法は、旧来の手書によるものからエレクトロニクス的手法への転換を余儀なくされることとは必至と思われ、その場合における有効かつ安全な方法と法制面でのバックアップについても急ぎ検討を加える必要がある。

参 考 資 料

(本委員会で検討した書類の主要例)

1. 「保 險 証 券」

THE TOKIO MARINE AND FIRE INSURANCE COMPANY, LIMITED

HEAD OFFICE: 2-1, MARUNOUCHI 1-CHOME, CHIYODA-KU, TOKYO, JAPAN. CABLE ADDRESS: "STILWATER TOKYO" TELE: J24858 STILWTR A
Assured(s), etc.

ESTABLISHED 1879

Invoice No. _____

POLICY No.	Assured Code	Amount insured
Claim, if any, payable at/in	Conditions	
Local Vessel or Conveyance From (Interior port or place of loading)		
Ship or Vessel called the	at and from	Sailing on or about
arrived at/tranhipped at	thence to	
Goods and Merchandise		

SAMPLE ONLY

Marks and Numbers as per Invoice No. specified above. Valued at the same as Amount insured.
Place and Date signed in No. of Policies issued

1. Warrented free from the consequences of war, revolution, rebellion, insurrection, or civil strife, inciting thereto, or detumment, and the consequences thereof, or of any attempt, or threats; also from the consequences of hostilities or warfare operations, whether there be a declaration of war or not; but this war does not include any war between a nation and its fleet or floating objects (other than a minor or torpedo), dredging, heavy weather or fire unless caused directly (and independently of the nature of the voyage or service which the vessel concerned or, in the case of a ship, the crew, is performing) by a hostile act by or against a belligerent power; and for the purpose of this warranty "power" includes any authority maintaining naval, military or air forces in position with a power.

Further warrented free from the consequences of civil war, revolution, rebellion, insurrection, or civil strife, inciting thereto, or of any attempt, or threats.

2. Warrented free of loss or damage

(a) caused by strikes, lockouts and other, persons taking part in labour disputes, strikes, lockouts and other, (b) resulting from strikes, lock-outs, labour disturbances, riots or civil commotions.

Grounding or stranding in the Suez, Panama or other canals, harbours or tidal rivers and ports, dredged or stranding under the terms of the charter party or agreement of lease which may be proved to have directly resulted therefrom.

This insurance does not cover any loss or damage to the property of the assured or his agents, or to the hull or cargo or damage so caused by or would but for the existence of the Policy be insured by any fire or other insurance policy or policies except in respect of any excess beyond the amount paid by the assured for the insurance or policies, or any insurance policy or policies had this insurance not been effected.

In the event of loss or damage which may involve a claim under this insurance, no claim shall be paid unless immediate notice of such loss or damage has been given to and a Survey Report obtained from this Company's Office or Agents specified in this policy.

Examined _____

In case of loss or damage, please follow the "IMPORTANT" clause printed on the back hereof.

Subject to the following Clauses as per back hereof.

Institute Cargo Clauses
Institute War Clauses (Cargo)
Institute Strike Riots & Civil Commotions Clauses
Institute Replacement Clause (applying to machinery)
Institute Dangerous Drugs Clause
Duty Clause (applicable only when import duty is specifically named under this Policy)
Co-Insurance Clause
(applicable in case of Co-Insurance)

Be it known, That

as well in his or their own Name, as for and in the Name and Names of all and every other Person or Persons to whom the same doth, may, or shall appear, in part or in all, do make Insurance, and hereby cause himself or themselves and them and every of them, to be Insured, lost or not lost, at and from the port of

_____ whereto is Master, for whatever other Name or Names the said Vessel, or the Master thereof, is or shall be named or called: - BEGINNING the Adventures upon the said Goods and Merchandise from the loading thereof on board the said Ship, and so to continue and endure, until the said Goods and Merchandise shall have arrived at

and until the same be there discharged and safely landed. And it shall be lawful for the said Vessel, in this Voyage, to proceed and sail to, and touch and stay at any Ports or Places whatsoever, (within the Limit of the said Voyage) for necessary Provisions, Assistance or Repairs, without prejudice to this Insurance: the said Goods and Merchandise to be safe and sound, and that

Touching the Adventures and Perils which the said TOKIO MARINE & FIRE INSURANCE COMPANY, LIMITED, themselves are content to bear, and to risk upon them in this Voyage: they are of the Seas, Men-of-War, Fire, Encounters, Pirates, Robbers, Thieves, Jettisons, Letters of Marque and Counter-Marque, Surpraises, Takings at Sea, Arrests, Requisitions and Detainments of all Kinds, Prizes, and People, of what Nation, Condition, or Quality soever, Battery of the Master and Mariners, and of all other Perils, Losses, and Misfortunes that have or shall come to the Hurt, Detriment, or Damage of the said Goods and Merchandise, or any part thereof; and in case of any Loss or Misfortune, it shall be lawful for the Assured, his or her Factors, Servants, or Agents, to sue, arbitrate, and travel for, in and about the Defence, Safeguard and Recovery of the said Goods and Merchandise, or any part thereof, with the project of the same to be sent to the Company, and the Company will be bound to accept the same, and to declare and agree that no acts of the Assured or his Agents in recovering, saving, or preserving the property insured, shall be considered as a waiver or acceptance of abandonment. AND it is agreed that this Writing or Policy of Insurance shall be of as much Force and Virtue as the newest Writing or Policy of Insurance made in LONDON. And so the said TOKIO MARINE & FIRE INSURANCE COMPANY, LIMITED, are conterred, and do hereby promise and bind themselves to the Assured, his or their Executors, Administrators, or Assigns, for the true Performance of the Premises, concerning themselves per the Conditions, due unto them for this Insurance, at and after the rate of _____ per annum. Per Cent.

2. In the event of Fire, Robbery, Theft, or Stealing, or any other damage to the Vessel, or any part thereof, or to the Goods and Merchandise, or any part thereof, General, or the Ship be stranded, sunk or burnt; Sugar, Tobacco, Flax, Flax, Hides and Skins are uninsured free from Average under Five per cent., and all other Goods are uninsured free from Average under Two per cent., unless General, or the Ship be stranded, sunk or burnt.

This insurance is understood and agreed to be subject to English law and usage as to liability for and settlement of any and all claims.

By witness whereof, I the Undersigned of THE TOKIO MARINE & FIRE INSURANCE COMPANY, LIMITED, do
on behalf of the said Company have subscribed my Name in _____ to Policies of the same tenor and date, one of which being accomplished, the other to be void, as of the date specified above.

For THE TOKIO MARINE & FIRE INSURANCE COMPANY, LIMITED.

AUTHORIZED SIGNATORY

2. 「保 険 承 認 状」

THE TOKIO MARINE AND FIRE INSURANCE COMPANY, LIMITED

This is to Certify that this Company has insured as under, subject to the terms and conditions of this Company's Standard Marine Policy Form to the extent of the same not being inconsistent with anything contained herein.

Assured(s), etc.

Invoice No.

(Prov. No.
CERTIFICATE No.)

)
Assured Code

Amount insured

Claim, if any, payable in Japan.

Conditions

SAMPLE ONLY

Local Vessel or Conveyance (From/Interior port or place of loading) Reference No.

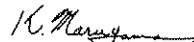
Ship or Vessel called the Tax and from Sailing on or about

Arrived at/transhipped at Place to

Goods and Merchandise

Subject to the following Clauses:
 Institute Circular Clause
 Institute War Clause (Cargo)
 Institute Strike Risks & Civil Commoners Clause
 F.O.B. Attached/Clear (Applicable to the insured goods to be shipped on
 F.O.B. basis)
 On-Deck Clause (Applicable to insurance on W.A. or border conditions)
 Decline of Phosphate Rock Insured on "F.O.B. & Drying Charge")
 Institute of General Average Clause (Applicable to insurance on the conditions
 Boarded Basis (F.P.A.)
 Institute Replacement Clause (Applicable to machinery)
 Institute Non-Returnable Goods Clause
 Label Clause (Applicable to canned or bottled products)
 Duty Clause (Applicable only when import duty is separately insured under
 the policy)
 In case of Air Transport, clauses printed on the back board will also apply.)

THE TOKIO MARINE & FIRE INSURANCE CO., LTD.



AUTHORIZED SIGNATORY

		Cargo Amount Insured (A)	Duty Amount Insured (B)
WISKE	Rate N.		
CARGO	TOTAL	V	
DRYER	TOTAL	V	
ETC	TOTAL	V	
		(Grand Total)	V

本弊社の場合は右記に保険料表示がされていますが、不要の場合は上記ミシン目から切り取って下さい。

(注) 円またはイタリアン・リラ基の保険
金額は1,000萬円で表示されます。

3. 「ライダー (Endorsement)」

ENDORSEMENT
THE TOKIO MARINE AND FIRE INSURANCE COMPANY, LIMITED
Attaching to and forming part of following Policy or Certificate:

Assured(s), etc.	Invoice No.	
No.	Assured Code	Amount insured
Goods and Merchandise		

Local Vessel or Conveyance (From interior port or place of loading)

Ship or Vessel called the at and from Sailing on or about

Arrived at/transhipped at thence to

It is hereby agreed that, instead of as originally stated, the description of the above original shall be altered to:

SAMPLE ONLY

The Tokio Marine & Fire Insurance Co., Ltd.

K. Maruyama

All other terms and conditions remaining unchanged.
Date _____

AUTHORIZED SIGNATORY

A21-3301 ↑ 検査印(枚)

4. 「船積船荷証券」

Shipper		(Forwarding agents)	
			B/L No.
Mitsui O.S.K. Lines Ltd. BILL OF LADING			
<p>Shipped on board the goods or packages said to contain goods hereinafter mentioned, in apparent good order and condition unless otherwise indicated herein, to be transported subject to all the terms of this bill of lading, by the route and via the place or places described and expressed in Articles 9, 9 and 10 hereof to the port of discharge named herein (hereinafter called "the intended port of discharge") or such other port or place as is provided for in Article 9 hereof or so near thereto as the vessel can safely get to and leave, always affording at all stages and conditions of water and weather, and there to be delivered or transhipped, on payment of all charges thereon.</p> <p>If requested, one signed bill of lading duly endorsed must be surrendered in exchange for the goods or delivery order.</p> <p>IN ACCEPTING THIS BILL OF LADING</p> <p>the shipper, consignee, holder of this bill of lading and owner of the goods agree to be bound by all of its stipulations, exceptions and conditions, whether written, typed, stamped or printed on the front or back hereof or if signed by such person, as local custom or privilege in the contrary notwithstanding, and agree that all agreements or freight engagements for the shipment of the goods are superseded by this bill of lading.</p> <p>In witness whereof, the number of original bills of lading stated herein, all of them same and date, has been signed, one of which being accomplished, the others to stand void.</p> <p>(Terms of Bill of Lading continued on the back hereof)</p>			
*Local vessel	From		
Ocean vessel	Voy. No.	Port of loading	
Port of discharge	For transhipment to	Final destination (for the shipper's reference only)	
Marks and Numbers	No. of pkgs. or units	Kind of packages; description of goods	Gross weight
Total number of packages or units			
Freight and charges	Revenue tons	Rate per	Prepaid
Exchange rate	Prepaid at	Payable at	Place and date of issue
	Total prepaid in local currency	No. of original Bills/L.	For the Master;
<small>* Applicable if carriage by local vessel to port of loading of ocean vessel arranged by carrier as agent for shipper in accordance with Article 11.</small>			
ICS B/L	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">ORIGINAL</div>		
JSA STANDARD Form - B-412153-106.000S			

5. 「受取船荷証券」

		(Forwarding Agents)																																																									
Shipper		B/L No.																																																									
																																																											
Consignee		Mitsui O.S.K. Lines, Ltd.																																																									
		BILL OF LADING																																																									
<p>Received by the Carrier from the shipper in apparent good order and condition, unless otherwise indicated herein the Goods or the container(s) or package(s) said to contain the cargo herein mentioned, to be carried subject to all the terms and conditions appearing on the face and back of this Bill of Lading by the vessel named herein, or any substitute at the Carrier's option, and/or other means of transport, from the place of receipt or loading or loading time to the place of discharge, at the place of delivery shown herein and there to be delivered unto order or assigns. If required by the Carrier, this Bill of Lading duly endorsed must be surrendered in exchange for the Goods or delivery order.</p> <p>In accepting this Bill of Lading, the Merchant agrees to be bound by all the provisions, conditions and restrictions on the face and back hereof, whether written, typed, stamped or printed as fully as if signed by the Merchant, any local custom or privilege to the contrary notwithstanding, and agrees that all agreements or freight engagements for and in connection with the carriage of the Goods are superseded by this Bill of Lading.</p> <p>As witness whereof, the undersigned, being a representative of Mitsui O.S.K. Lines, Ltd., the Master and the owner of the Vessel, has signed the number of Bill(s) of Lading stated below all of this tenor and date, one of which being accomplished, the others to stand void.</p>																																																											
(Terms of Bill of Lading continued on the back hereof)																																																											
Pre-carriage by	Place of receipt																																																										
Ocean vessel	Voy. No.	Port of loading																																																									
Port of discharge	Place of delivery		Final destination for the Merchant's reference																																																								
Container No.	Seal No.	No. of Cont.	Kind of packages: description of goods Marks and Numbers	Gross weight	Measurement																																																						
<p>SAMPLE ONLY</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td colspan="6">* Total number of Containers or other packages or units received by the Carrier (in words)</td> </tr> <tr> <td>Freight and charges</td> <td>Revenue tons</td> <td>Rate</td> <td>per</td> <td>Prepaid</td> <td>Cargo</td> </tr> <tr> <td colspan="6"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td>Exchange rate</td> <td>Prepaid at</td> <td>Payable at</td> <td colspan="3">Place and date of issue</td> </tr> <tr> <td>per Yen</td> <td>Total prepaid in Yen</td> <td>No. of original B(s)/L</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">MITSUI O.S.K. LINES, LTD.</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">LADEN ON BOARD THE VESSEL</td> </tr> <tr> <td>Date</td> <td colspan="5">Signature</td> </tr> <tr> <td colspan="6"> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="flex: 1; border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 10px;">ORIGINAL</div> <div style="flex: 4; text-align: right;">by</div> </div> </td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: right;">Printed in Japan CP-167-54-3-50,000N</td> </tr> </table>						* Total number of Containers or other packages or units received by the Carrier (in words)						Freight and charges	Revenue tons	Rate	per	Prepaid	Cargo	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td>Exchange rate</td> <td>Prepaid at</td> <td>Payable at</td> <td colspan="3">Place and date of issue</td> </tr> <tr> <td>per Yen</td> <td>Total prepaid in Yen</td> <td>No. of original B(s)/L</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">MITSUI O.S.K. LINES, LTD.</td> </tr> </table>						Exchange rate	Prepaid at	Payable at	Place and date of issue			per Yen	Total prepaid in Yen	No. of original B(s)/L	MITSUI O.S.K. LINES, LTD.			LADEN ON BOARD THE VESSEL						Date	Signature					<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="flex: 1; border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 10px;">ORIGINAL</div> <div style="flex: 4; text-align: right;">by</div> </div>						Printed in Japan CP-167-54-3-50,000N					
* Total number of Containers or other packages or units received by the Carrier (in words)																																																											
Freight and charges	Revenue tons	Rate	per	Prepaid	Cargo																																																						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td>Exchange rate</td> <td>Prepaid at</td> <td>Payable at</td> <td colspan="3">Place and date of issue</td> </tr> <tr> <td>per Yen</td> <td>Total prepaid in Yen</td> <td>No. of original B(s)/L</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">MITSUI O.S.K. LINES, LTD.</td> </tr> </table>						Exchange rate	Prepaid at	Payable at	Place and date of issue			per Yen	Total prepaid in Yen	No. of original B(s)/L	MITSUI O.S.K. LINES, LTD.																																												
Exchange rate	Prepaid at	Payable at	Place and date of issue																																																								
per Yen	Total prepaid in Yen	No. of original B(s)/L	MITSUI O.S.K. LINES, LTD.																																																								
LADEN ON BOARD THE VESSEL																																																											
Date	Signature																																																										
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="flex: 1; border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 10px;">ORIGINAL</div> <div style="flex: 4; text-align: right;">by</div> </div>																																																											
Printed in Japan CP-167-54-3-50,000N																																																											

 ICS
B/L

ISA STANDARD FORM(A)

6. 「Certificate (不寄港，船級，建造年月日等の証明)」

HEAD OFFICE
11, TORANOMON 2-CHOME,
MINATO-KU, TOKYO,
100-7 JAPAN

MITSUI O.S.K. LINES, LTD.
TOKYO, JAPAN

CABLE ADDRESS
THEMOLINE TOKYO
TELEX J22266
AAB MOLINE
TELEPHONE
TOKYO (384) 5111

Tokyo,

C E R T I F I C A T E

To whom it may concern:

M.S. "

" VOY. NO.

With regard to the above mentioned vessel, we hereby certify that

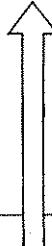
- 1) The above vessel does not call at any Israeli port after sailing from Japan nor included in the black list of Iraqi Government and Saudi Arabian Government.
- 2) Operated by us and nationality is
- 3) Classified by
- 4) Japan/India Pakistan Gulf/Japan Liner Service.
- 5) Built in
- 6) We, Mitsui O.S.K. Lines, Ltd., are a member line of the Japan/India-Pakistan-Gulf/Japan Conference.

SAMPLE ONLY

Yours faithfully,

Mitsui O.S.K. Lines, Ltd.
Tokyo Branch

Manager, Documents,
Export Department (B)



7. 「Certificate (同盟船，荷揚許可等の証明)」

Tokyo,

To whom it may concern:

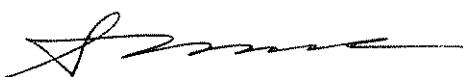
M/S " _____"
Japan/Lagos-Apapa

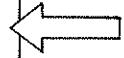
We, Mitsui O.S.K. Lines, hereby certify that the captioned vessel
is of a member of Japan/West Africa Freight Conference (Nigeria/Senegal
Range), and has been permitted to discharge cargo at berth No. 10 or
other berth allocated by the Nigerian ports authorities.

The Carrying vessel conforms to the Nigerian Classification
Clause dated 1st Feb. 1979.

Yours faithfully,

Mitsui O.S.K. Lines, Ltd.


Manager,
Documents Section
Tokyo Branch



SAMPLE ONLY

8. 「インボイス（基本セット）」

ADDRESS: 1-1, OHTSUCHI-1-CHOME, CHRISTOPHER TOKYO, JAPAN TELEPHONE: 105-1111		MITSUI & CO., LTD. HEAD OFFICE C. P. O. BOX NO. 822 TOKYO, 100-91, JAPAN		TELEX NO. "22233" CABLE ADDRESS: "MITSUI TOKYO" CODES USED: ACME BENTLEY'S 2ND BENTLEY'S COMPLETE A. B.C. 4TH, 7TH NEW BOE	
INVOICE					
INVOICE NO.		TOKYO		SHIPPING MARKS & NOS.	
Contract No.	Contracted Date	Buyer's Order No.			
Consigned in Boxes					
Shipped in good order and condition per		From			
To					
Selling office or store	Quantity				
L/C No.	MBK No.				
Issuing Bank					
Commodity	Commodity code	Sales Section			
Description	Unit Price	Amount			
	per				
SAMPLE ONLY					
MITSUI & CO., LTD.					
Authorized Signature by General Manager of Export Trade Division					
MITSUI & CO., LTD.					
<i>Murayama</i> Murayama, General Manager Export Trade Div.					

9. 「インボイス（組合わせセット）」

INVOICE NO. _____		Page: _____	
Description	Unit Price	Amount	Page: _____
			Amount
<p>ADDRESS: 3-1, OHTZIMACHI 1-CHOME, CHIYODA-KU, TOKYO, TELEPHONE: 285-1111</p> <p>MITSUI & CO., LTD. HEAD OFFICE C.P.O. BOX NO. 822 TOKYO, 100-01, JAPAN</p> <p>INVOICE</p> <p>TOKYO.</p> <p>TELEX NO. "13225"</p> <p>CABLE ADDRESS: "MITSUI TOKYO"</p> <p>CODES USED: ACME BENTLEY'S IND BENTLEY'S IND. COMPLETE A.B.C. 4TH, 7TH NEW BOE</p>			
<p>INVOICE NO. _____</p> <p>Contract No. _____ Contract Date _____</p> <p>Buyer's order No. _____</p> <p>Consignee to Vessel _____</p> <p>Shipped in good order and condition per _____ From _____</p> <p>To _____</p> <p>Selling on or about _____ Quantity _____</p> <p>L/C No. _____ IBMK No. _____</p> <p>Issuing Bank _____</p> <p>Commodity _____ Commodity code _____ Sales Section _____</p>		<p>SHIPPING MARKS & NOS.</p>	
		<p>Description</p> <p>Per</p> <p>Unit Price</p> <p>Amount</p>	
<p>SAMPLE ONLY</p>			
<p>MITSUI & CO., LTD.</p> <p>Authorized Signatory By General Manager of Export Traffic Division</p>			
<p>MITSUI & CO., LTD.</p> <p></p> <p>K. Murayama, General Manager of Export Traffic Div.</p>			
<p>2008 RD-123-13-A</p>			

10. 「輸入信用状」

Original																
 THE BANK OF TOKYO, LTD.																
<small>Place and date of issue</small> <small>Credit number</small>																
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: left; padding: 2px;">IRREVOCABLE DOCUMENTARY CREDIT</td> <td style="text-align: left; padding: 2px;">Expiry date</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: left; padding: 2px;">Applicant</td> <td style="text-align: left; padding: 2px;">Beneficiary</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: left; padding: 2px;">Advising bank</td> <td style="text-align: left; padding: 2px;">Amount</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: left; padding: 2px;"> Partial shipment <input type="checkbox"/> Transhipment <input type="checkbox"/> </td> <td style="text-align: left; padding: 2px;"> Credit available with <small>against presentation of the documents detailed herein <input type="checkbox"/> and of your draft(s) at</small> <small>drawn on</small> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: left; padding: 2px;">Shipment from</td> <td></td> </tr> </table>		IRREVOCABLE DOCUMENTARY CREDIT		Expiry date	Applicant		Beneficiary	Advising bank		Amount	Partial shipment <input type="checkbox"/> Transhipment <input type="checkbox"/>		Credit available with <small>against presentation of the documents detailed herein <input type="checkbox"/> and of your draft(s) at</small> <small>drawn on</small>	Shipment from		
IRREVOCABLE DOCUMENTARY CREDIT		Expiry date														
Applicant		Beneficiary														
Advising bank		Amount														
Partial shipment <input type="checkbox"/> Transhipment <input type="checkbox"/>		Credit available with <small>against presentation of the documents detailed herein <input type="checkbox"/> and of your draft(s) at</small> <small>drawn on</small>														
Shipment from																
SAMPLE ONLY																
<small>Drafts and documents must be presented</small> <small>within days after</small> <small>but within the credit validity.</small>																
<small>c.c.</small>																
<small>We hereby issue this Documentary Credit in your favour. It is subject to the Uniform Customs and Practice for Documentary Credits (1974 Revision, International Chamber of Commerce, Paris, France, Publication No. 290) and engages us in accordance with the terms thereof, and especially in accordance with the terms of Article 3 thereof. The number and the date of the credit and the name of our bank must be quoted on all drafts required. If the credit is available by negotiation, each presentation must be noted on the reverse of this advice by the bank where the credit is available.</small>																
<small>Yours faithfully,</small> THE BANK OF TOKYO, LTD.																
<small>Authorized Signature</small>																
<small>(IMC-419054) 81.4</small>																

11. 「輸出信用状の通知書（確認信用状の通知）」



Please quote
our Ref. No.
in any communication with us.

ADVICE OF CONFIRMED CREDIT

Credit No.
For

Advise through

Office

Date

To:

Issuing bank

SAMPLE ONLY

Through bank

Gentlemen:

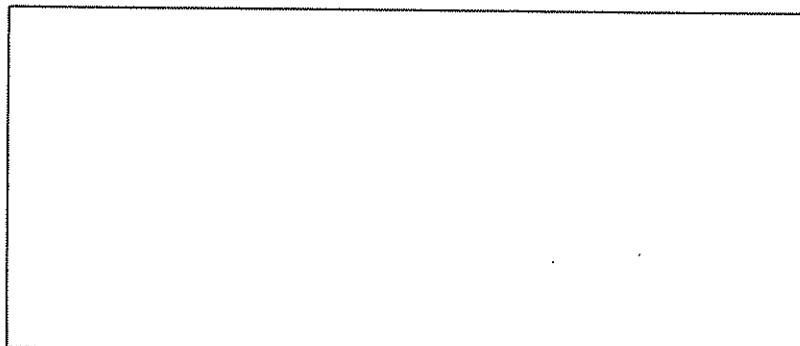
We advise you that we have received a cable/an airmail message dated from the above-mentioned bank reading in substance as shown on the attached sheet signed by us.

We confirm this credit and hereby undertake that drafts drawn and presented at this office as above specified will be duly honored.

Please note that in case of messages we receive by cable, we assume no responsibility for any errors and/or omissions in the transmission and/or translation of the cable, and we reserve the right to make such corrections as may be found necessary.

This letter must be presented at each drawing and the amount of any such drawing must be endorsed on the reverse hereof by the paying/accepting/negotiating bank.

THIS ADVICE IS SUBJECT TO UNIFORM CUSTOMS AND PRACTICE
FOR DOCUMENTARY CREDITS (1972 REVISION), INTERNATIONAL CHAMBER
OF COMMERCE PUBLICATION NO. 290.



Yours very truly,

THE BANK OF TOKYO, LTD.

N.B. In case of difficulties, please consult
us before communicating with your
customers.

(EXK-81913%)

.....
Authorized Signature



12. 「輸出信用状の通知書（条件変更の通知）」



Please quote
our Ref. No.
in any communication with us.

ADVICE OF AMENDMENT OF CREDIT

Advise through

Office

Date

To:

Issuing bank

SAMPLE ONLY

Through bank

Gentlemen:

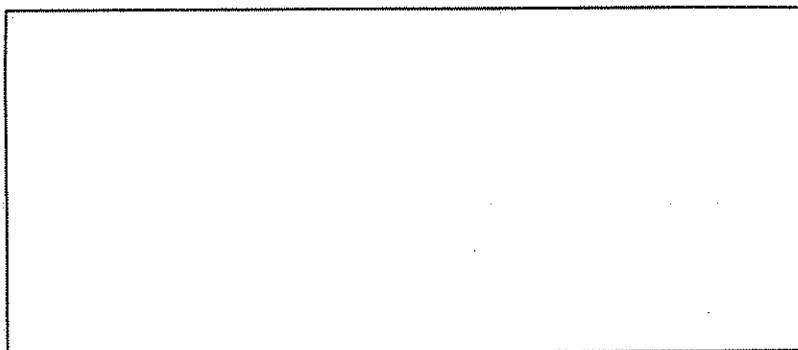
Re: Credit No.
For
in your favor

dated

We advise you that we have received a cable/an airmail message dated
the above-mentioned Credit as follows:

from the above-mentioned bank amending

Please note that in the case of messages we receive by cable, we assume no responsibility for any errors and/or omissions
in the transmission and/or translation of the cable, and we reserve the right to make such corrections as may be found necessary.
This letter constitutes an integral part of, and must be attached to, the original Advice of Credit.



Yours very truly,

THE BANK OF TOKYO, LTD.

N.B. If the above-mentioned amendment
is not acceptable to you, please inform
us by letter immediately.

.....
Authorized Signature

(EXK-51935)



主要貿易書類の署名の考察

—— 署名方法の簡易化のために（その2）——

昭和58年5月24日
禁無断転載 300部

JASTPRO刊82-18

発行所 (財)日本貿易関係手続簡易化協会
東京都港区芝大門2-10-1
(第一大門ビル)
電話(03) 437-6135

Copyright © 2006, 2004, 2002, 2000 by Pearson Education, Inc., or its affiliates. All Rights Reserved.